

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公表番号】特表2008-506421(P2008-506421A)
 【公表日】平成20年3月6日(2008.3.6)
 【年通号数】公開・登録公報2008-009
 【出願番号】特願2007-514911(P2007-514911)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 4 1 P
 A 6 3 B 69/36 5 4 1 V
 A 6 3 B 69/36 5 4 1 W

【手続補正書】
 【提出日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ゴルフスイング運動診断装置であって、
 少なくとも 1 つのジャイロスコープ、少なくとも 1 つの加速度計、検知されたアナログ
 信号をデジタル信号に変換する A / D コンバーター、
 前記デジタル信号を処理する計算手段、及び
 前記処理を表示するフラットパネルディスプレイは、
 ゴルフクラブのヘッド、ゴルフクラブのシャフト及びゴルフクラブグロブに一体に又
 は別個に取り付けられる、ゴルフスイング運動診断装置。

【請求項 2】

前記計算手段は、
 1 つの角速度及び 1 つの加速度の少なくとも 1 つの値を得て、
 ゴルフスイング軌道、インパクト位置、フェース角度、スイングテンポ、角速度及び加
 速度を用いたスイングテンポを計算し、
 前記得た値をバックスイング、ダウンスイング及びフォロースイングを有するスイング
 中の標準のスイング値の少なくとも 1 つの値と比較し、
 前記スイングの前記バックスイング、前記ダウンスイング及び前記フォロースイングが
 、所定の範囲内にあるかを決定し、並びに
 前記表示手段に結果を表示する、
 請求項 1 記載のゴルフスイング運動診断装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、スピーカであり、前記スピーカは、標準のスイングパターンのテ
 ンポをモデル化する一連の音を生成する、請求項 2 記載のゴルフスイング運動診断装置。

【請求項 4】

電源供給、メニュー選択及び診断手順の場面移動を有するモードの選択では、前記計算
 手段は、少なくとも 1 つの角速度及び必要に応じて少なくとも 1 つの加速度に関する少な
 くとも 1 つの値により、前記診断装置を制御する、請求項 2 記載のゴルフスイング運動診
 断装置。

【請求項 5】

前記ゴルフクラブはパターであり、計算手段は、 $x - z$ 面のジャイロスコープの少なくとも 1 つの角速度値 y 及び / 又は $x - y$ 面のジャイロスコープの少なくとも 1 つの角速度値 z を、スイングのインパクトの近傍の 1 つ以上の位置で得て、そして前記値を所定の値と比較する、請求項 1 記載のゴルフスイング運動診断装置。

【請求項 6】

前記計算手段は、 $y - z$ 面のジャイロスコープの少なくとも 1 つの角速度 x をスイング中の 1 つ以上の位置に置いて得て、そして前記値を所定の値と比較する、請求項 5 記載のゴルフスイング運動診断装置。